
平成30年度 事業報告書

学校法人龍澤学館

目次

1	学校法人の沿革	1
2	学校法人の組織図	3
3	学生・生徒数の状況	4
4	理事・監事・評議員の概要	5
5	事業の概要	6

1 学校法人 龍澤学館 沿革

[設立] 昭和28年9月17日 龍澤福美が、盛岡市鷹匠小路に進学研究会を創立。
昭和38年3月14日 学校法人 龍澤学館として、岩手県知事より認可を受ける。

[建学の精神] 独立進取 研鑽努力

[代表者] 理事長 龍澤 正美 (平成6年9月就任)

[教職員数] 620名 (常勤教職員 275名、非常勤教職員 345名) ※30.5.1現在

[事業内容] 私立学校法人として10校を設置経営している。

[設置・経営] 法人本部 盛岡市大沢川原三丁目4番1号 電話 019-622-6357
FAX 019-623-3339

盛岡中央高等学校	盛岡市みたけ	(全日制課程) 1学科 (通信制課程) 1学科
盛岡中央高等学校附属中学校	盛岡市みたけ	
幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園	盛岡市月が丘	
盛岡情報ビジネス専門学校	盛岡市中央通	10学科
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	盛岡市大沢川原	8学科
盛岡医療福祉専門学校	盛岡市大沢川原	9学科
専修学校盛岡中央ゼミナール	盛岡市大沢川原	1部門
盛岡公務員法律専門学校	盛岡市中央通	4学科
盛岡ペットワールド専門学校	盛岡市駅前通	5学科
盛岡看護医療大学校	盛岡市中央通	1学科

[関連会社・法人] ※ 人数は 30.4.1 現在

- (株) IBCソフトアルファ (コンピュータソフト開発、機器販売、人材派遣 社員数62名)
- (株) エムシーエス生涯学習センター (社会人教育、学習塾、教育ソフト販売 社員数47名)
- (株) 岩手ビッグブルズ (プロバスケットボールチームの運営、スポーツに関する情報提供サービス 社員数6名)
- 社会福祉法人盛岡ひまわり会・緑が丘ひまわり保育園・盛南ひまわり保育園 (職員数40名)

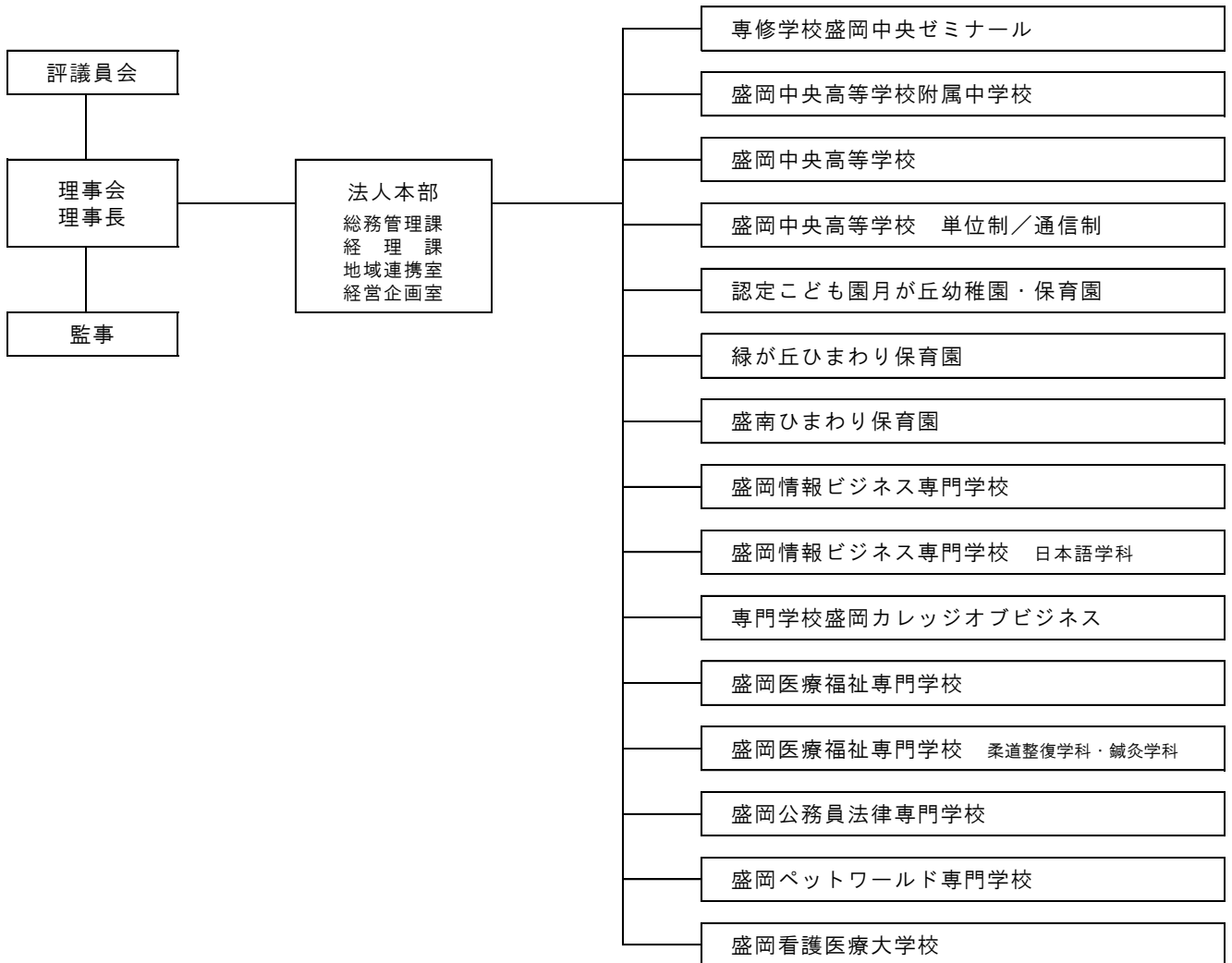
[沿革]

- 昭和28年 進学研究会 (高校受験・大学受験進学塾) 設立。
- 昭和33年 岩手県知事認可。龍澤予備校 (大学受験部・高校受験部) 設立。
- 昭和38年 龍澤高等学校 (普通科) 創設。
- 昭和53年 月が丘幼稚園設置、開園。
- 昭和59年 龍澤予備校創立30周年。新校舎完成移転。盛岡中央ゼミナールと校名改称。
- 昭和62年 盛岡情報ビジネス専門学校設置、開校。
- 平成2年 盛岡中央ゼミナールに河合塾サテライト講座開設。
- 平成4年 龍澤高等学校創立30周年。盛岡中央高等学校と校名改称。
- 平成8年 専門学校盛岡カレッジオブビジネス開校。
- 平成9年 盛岡医療福祉専門学校開校。
- 平成11年 (株) エムシーエス生涯学習センター設立。
- 平成15年 盛岡情報ビジネス専門学校 日本語学科開設。
- 平成16年 盛岡中央高等学校 単位制 (通信制課程) 開設。
- 平成17年 盛岡公務員法律専門学校、盛岡ペットワールド専門学校開校。
- 平成18年 盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科開設。
- 平成22年 緑が丘ひまわり保育園開園。
- 平成22年 (株) 岩手スポーツプロモーション設立。

- 平成25年 緑が丘ひまわり保育園が社会福祉法人に移管。
- 平成27年 幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園開園。
- 平成28年 盛岡看護医療大学校開校。
- 平成29年 社会福祉法人盛南ひまわり保育園開園。
- 平成30年 盛岡中央高等学校附属中学校開校。

(平成30年4月1日現在)

2 学校法人龍澤学館グループ H30年度組織図



3 学生・生徒数の状況(平成30年5月1日現在)

学校名	学科名	平成30年度 (人)	
		入学定員	収容定員
盛岡中央高等学校	全日制課程 普通科	240	720
	通信制課程 普通科	500	500
	小 計	740	1,220
盛岡中央高等学校附属中学校		70	70
月が丘幼稚園・保育園	0歳児	-	9
	1歳児	-	10
	2歳児	-	10
	3歳児	-	61
	4歳児	-	80
	5歳児	-	80
	小 計	-	250
盛岡情報ビジネス専門学校	ITエキスパート科	-	-
	高度情報工学科	20	80
	システム工学科	-	-
	総合システム工学科	20	60
	情報システム科	40	80
	WEBネットワーク科	-	-
	ネットワークセキュリティ科	20	40
	情報ビジネス科	40	80
	会計ビジネス科	20	40
	総合デザイン科	20	60
	デザイン科	100	200
	日本語学科	80	140
	小 計	360	780
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	ホテルビジネス科	30	60
	ブライダルビジネス科	30	60
	トラベルビジネス科	30	60
	ファッション・ショップビジネス科	30	60
	総合ビジネス科	50	80
	国際ビジネス科	20	50
	パティシエ科	45	75
	起業マネジメント科	40	40
	小 計	275	485
盛岡医療福祉専門学校	介護福祉学科	80	160
	こども福祉学科	40	120
	こども未来学科	50	100
	医療事務学科	80	160
	社会福祉学科	40	120
	心理福祉学科	40	160
	スポーツ健康学科	40	80
	柔道整復学科	120	360
	鍼灸学科	60	180
小 計	550	1,440	
盛岡公務員法律専門学校	公務員専攻科	40	40
	公務員ビジネス科	90	190
	公務員上級学科	20	20
	キャリア総合学科	20	40
	小 計	170	290
盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科	30	60
	ペット美容トリマー科	40	80
	ドッグトレーナー科	20	40
	ペットショップビジネス科	20	40
	ペットマスター科	10	30
	小 計	120	250
専修学校盛岡中央ゼミナール	大学受験科	250	250
盛岡看護医療大学校	看護学科	40	120
合 計		2,575	5,155

4 理事・監事・評議員の概要

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	氏 名
理事長	龍澤 正美
理 事	佐々木 博
理 事	東嶋 末起
理 事	齋 藤 隆
理 事	富澤 正一
理 事	黒沼 芳朗
理 事	阿 部 正樹
理 事	龍澤 尚孝
理 事	石塚 恭路
監 事	藤澤 克典
監 事	及 川 邦雄

区 分	氏 名
評 議 員	龍澤 正美
評 議 員	山 口 光昭
評 議 員	北田 義四郎
評 議 員	北川 庄三郎
評 議 員	佐々木 博
評 議 員	黒沼 芳朗
評 議 員	東嶋 末起
評 議 員	齋 藤 隆
評 議 員	龍澤 尚孝
評 議 員	富澤 正一
評 議 員	遠藤 玲二
評 議 員	村 上 貢一
評 議 員	阿 部 正樹
評 議 員	龍澤 英宏
評 議 員	高橋 秀実
評 議 員	江刺家 永二
評 議 員	小館 喜久雄
評 議 員	石塚 恭路

5 事業の概要

事業の概要

1 全体として

少子高齢化が急速に進むなか、各学校ではその対応が求められている。このため当学校法人では、盛岡中央高等学校を中心にグローバル教育の推進、また進学のための学力向上の充実化を図っている。

また、専門学校においては、IT教育への対応や質の高い技術と知識の習得によるポテンシャルの向上も図っており、その結果が進学率や就職率に表れている。教職員も一丸となって、自らの教育訓練や教育環境の整備に鋭意努力している。

2 主な事業概要

(1) 盛岡中央高等学校附属中学校を新設

当学校法人の中核的教育方針として掲げている、地域特性を生かした人間教育とグローバル教育、IT教育等を推進すべく平成30年4月に盛岡中央高等学校附属中学校を設置した。中・高6か年の教育システムを導入することで教育効果の向上を図ること、また、国際理解教育によりグローバルリーダーを育成しつつ、岩手が生んだ偉人や伝統文化を学び、郷土を愛する心を育むことを心掛けた。

(2) 盛岡看護医療大学校で初の卒業生を輩出

地域医療に貢献する人材の育成を目指し、平成28年に開校した盛岡看護医療大学校で、第1回の卒業生38名を輩出し、その卒業生の国家試験合格率は97.4%と全国平均を上回り、全員の就職が決定し、県内就職率が70%を超えた。

(3) 盛岡医療福祉専門学校柔道整復学科・鍼灸学科の制度改革への対応

盛岡医療福祉専門学校柔道整復学科・鍼灸学科では、平成30年度から導入された教育制度改革に対応して、カリキュラムの大幅改編と実習受講のための施設の改築を実施した。主な内容は、大幅に増加した実習取得単位に対応するため、臨床実習のベット数を2床増設して6床とし、また外部患者受け入れのための施設と設備の充実を図った。また、外部の福祉施設やスポーツ施設などと提携することで学生の視察や見学の実践機会を確保した。

(4) 盛岡医療福祉専門学校通信教育部精神保健福祉士養成コースの開設準備

平成31年4月の開設を目指し、働きながら資格を取得しようとする志をサポートするため、既に開設している社会福祉士通信教育コースに加えて、精神保健衛生士短期養成コースの新設に着手した。

(5) CHUO国際教育フォーラム第20回記念大会の開催

グローバル人材教育の一環として毎年実施しているCHUO国際教育フォーラムは20回目の節目に当たり、カナダ、中国、オーストラリア、ベルギーなどの海外姉妹校及び岡山学芸館高校、沖縄尚学高校等17の国と地域から教員と生徒合わせて約100名が参加した。平成30年度のフォーラムのテーマのひとつである「世界を変えるための学校づくり」に関して活発な意見交換や討論が繰り広げられた。